



UNION NEWS

<https://www.jrtu.jp>

東海旅客鉄道労働組合

E-mail sodan@jrtu.or.jp

東京本部 〒108-0075 東京都港区港南2-1-95

JR東海品川に108号3F (03)6718-1251

名古屋本部 〒453-0002 名古屋市中村区名駅1-1-13 (052)586-3127

JR東海ユニオン

(1部20円)組合員の購読料に含む

発行人 尾内 裕昭 / 編集人 宮崎 勝典

新規組合員の皆さんの加入を歓迎します！

尾内中央執行委員長からの歓迎メッセージ



尾内中央執行委員長

2024年度新規組合員の皆さん、JR東海ユニオンへの加入を心より歓迎いたします。JR東海ユニオンはJR東海における責任組合とし

て、JR東海と「将来につながる共同宣言」「将来宣言」を締結のうえ、「将来にわたる組合員・家族の幸せ実現」をめざし、健全で強固な労使関係のもと、組合員から寄せられた意見や提言に基づく労使交渉・協議を展開し、多くの課題解決に取り組んでいます。昨年3月15日にはJR東海ユニオン結成30周年を迎えることができました。結成以来、諸先輩方の弛まぬ努力の積み重ねによって、JR東海は高いレベルでの安全・安定輸送を確立し、世の中に高く評価される鉄道会社へと進化し、賃金をはじめとする諸労働条件を大きく向上させるとともに、私たちの働き方や働く環境を改善してきました。これから先、皆さんは社会人としての一歩を踏み出し、多くの時間を会社生活に費やすこととなり、仕事を通じて良いことを積み重ねていくことでしょう。皆さんが安心して、そして希望をもって会社生活が送れるようJR東海ユニオンがしっかりとサポートします。ので、どんな些細なことでも組合役員に相談してください。先輩組合員は皆さんのことを見守っています。加えて、皆さんにはJR東海ユニオンの様々な活動への参画を通じ、職種や系統を超えた多くの仲間とのつながりを持ち、会社生活をより多きものにしていただければと思っています。様々な機会がありますので、これから一緒に活動していきましょう！

経営懇談会「令和5年度期末決算」を開催

単体の営業収益・運輸収入では、過去4番目の好決算！

(H30・R元・H29に続く決算)

5月1日、経営懇談会を開催し、「令和5年度期末決算」について会社から説明を受け、業績や見通しについて議論を行いました。

2023(令和5)年度は、コロナ禍からの回復に伴い、東海道新幹線・在来線ともにご利用が増加したことなどから、連結営業収益は前年と比べ増加しました。一方、営業費は、当社の物件費やグループ会社における売上原価の増等により増加しましたが、増収・増益の決算であることを

確認しました。加えて、当期末の株主配当は、昨年8月に公表した配当予想に対して1円増の1株当たり15円とし、次期の配当予想(中間・期末)についても同額とすることも確認しました。

経営懇談会では、当期の経営成績に関する会社の見解や2024(令和6)年度の事業運営の見通し等について詳細に確認するとともに、長期債務、設備投資、コスト削減及び経営体力の再強化、効率的な業務執行体制、グループ

事業、利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当、中央新幹線計画、人財及び労使関係など、広範の項目に亘り、労使で議論を深めました。特に、業績予想では、2024(令和6)年度の運輸収入は、2018(平成30)年度比で年度初(4月)96%から年度末にかけて100%まで回復する前提で策定されており、会社からは、これまでの組合員の努力に感謝するとともに、更なる尽力に期待している旨が述べられた。引き続き

るようJR東海ユニオンがしっかりとサポートします。ので、どんな些細なことでも組合役員に相談してください。先輩組合員は皆さんのことを見守っています。加えて、皆さんにはJR東海ユニオンの様々な活動への参画を通じ、職種や系統を超えた多くの仲間とのつながりを持ち、会社生活をより多きものにしていただければと思っています。様々な機会がありますので、これから一緒に活動していきましょう！

□令和5年度期末連結決算の概要

科目	実績	前年度との差異	増減率
営業収益	17,104億円	+3,101億円	+22.1%
営業利益	6,073億円	+2,328億円	+62.2%
経常利益	5,469億円	+2,394億円	+77.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	3,844億円	+1,649億円	+75.2%